

大野ひろみと市民ネット

順天堂大学の誘致問題

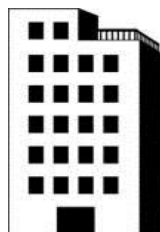
ユーカリが丘駅前の土地に、順天堂大学のスポーツ健康科学部（学生数 870 名）を誘致する計画が、地元デベロッパー「山万」により進められています。しかし以下のような問題が…

①巨額の税金投入

順天堂大学は佐倉市進出の条件として、新キャンパスの建設費 48 億円（大学側の試算）の半額 **24 億円**を、佐倉市が負担するように求めています。土地は山万が無償貸与。公的事業と民間事業の境目があいまいです。

②市民への説明が一切ない

大学が佐倉市に来ること自体は歓迎すべき話ですが、今回の件が具体的に市民に説明されたことはありません。



③いつの間にか市長選の争点に…

現在、某市長候補が「順天堂大学誘致は、佐倉市に莫大な経済効果をもたらし、人口減少に歯止めをかける」として、市長選の争点とする大キャンペーンを行っています。現市長もとにかく積極姿勢を示し始めました。しかし、ユーカリが丘地区に順大の一学部を誘致することが、「なぜ佐倉市に莫大な経済効果をもたらすのか、なぜ人口減少の歯止めとなるのか」については納得できる明快な説明はありません。

大学誘致は、志津・ユーカリ地区だけでなく、全市民的な市民参加の元で議論すべきです。

議会改革が進まない理由

「議員自身が身を切る改革を！」とはよく聞かれる言葉ですが、残念ながら口先だけの議員が多すぎます。

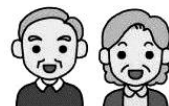
昨年 12 月議会で、若年職員の給与引き上げに便乗して議員のボーナスも 1 人 7 万円弱アップされました。

これに市民ネットは反対し討論しましたが、最大会派の「さくら会」などの賛成多数で押し切られました。

まだまだ数の力で「問答無用」ということが多く、議会改革は進みません。しかし私、大野ひろみは、今後も市民目線で議会改革に取り組みます！（ボーナスアップ分は法律により返還できないので、映画「日本と原爆」上映会費用と、「沖縄球美の里」への寄附として使いました）。

どうなる？介護保険

介護保険について毎議会質問しているのは市民ネットだけ。そのせいもあって佐倉市の標準月額額は **4700 円**で、据え置きです！



《ところが問題も…》

国は消費税 10%増税を延期したことを理由に低所得層への補助を少なくし、その結果、今より保険料が高くなる低所得層が出ています。

消費税は社会保障の充実が目的だったはず。しかし、昨年 8%にアップした増収分 5 兆円のうち、社会保障にはわずか 1 割の 5000 億円しか使われていません。このことが地方自治体を直撃しています。

《佐倉市議の多くは無関心》

残念なことに、今の佐倉市議会には介護保険について無関心な議員がほとんど。

3 月議会で「**介護保険料の一部値上げ**」という議案が出されましたが、反対したのは市民ネットの 3 人（伊藤、五十嵐、大野）、富塚、萩原のみ。ほとんどの議員が、内容も吟味せず賛成してしまいました。

大野ひろみは提案します！

年金は目減りする一方。これから保険料を払えない低所得の高齢者が激増します。そこで…

市独自の介護保険料や利用料の減免制度の創設を市に求めていきます！

新しい子育て支援制度が始まりました

4 月から「子ども子育て支援新制度」が始まり、保育制度や支援策が大幅に変わりました。

何かお困りのことはありませんか？

大野ひろみは「子育て支援策」にも力を注いでいます。何でもご相談ください。

